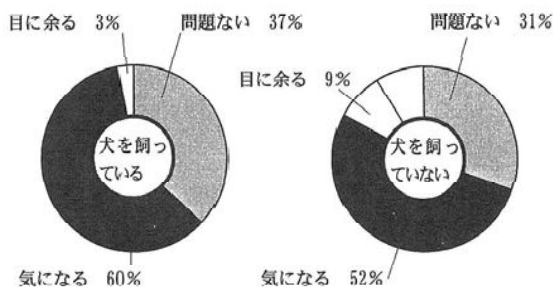
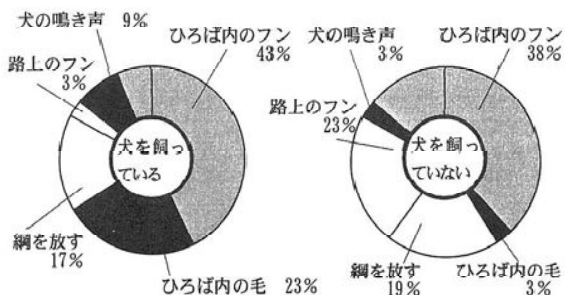


# ひろばの話題 あれこれ

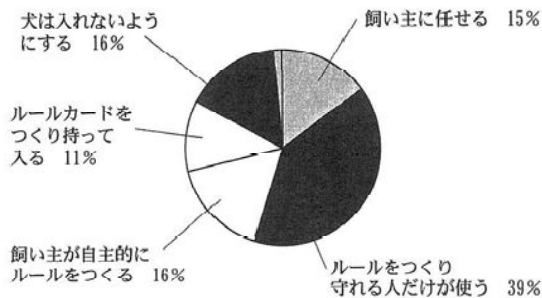
## 現在の状況をどうお考えになりますか



## どんなことが気になる、あるいは問題とされますか



## ひろばを犬の散歩で使うことについて、どうお考えになりますか



2

## 犬についてのアンケート

ひろばやその周辺では、犬について、これまでたびたび問題となってきました。ひろばや周辺の道路に放置されるフンや毛玉、閉園後にフェンスを乗り越えての放し飼い、飼い主どうしのトラブルも報告されています。

防災ひろばの会では、この問題について、地域の皆さんがどのようにお考えかをアンケート調査しました。

調査は、防災まちづくり祭の会場で、行われました。回答していただいたのは258名。年齢的には60歳以上の方が55%、40～59歳が27%、小中学生が7%という割合になっています。お住まいは池袋本町一丁目のが44%、二丁目のが28%、三丁目のが8%、四丁目のが13%。犬を飼っているかどうかについては、飼っている方が25%、飼っていない方が69%。ひろばの利用については、利用している方が9%、たまに利用している方が6%、利用していない方が9%という方々が対象となりました。

左のグラフを見て判るように、現在の状況に対しては、気になるとお答えの方が多く、特に犬を飼っている方では60%に及んでいます。問題があることをお知りの方が多くことが示されています。一方で問題ないという方も31～37%に達しています。

問題となる点については、ひろば内のフンが圧倒的に多く40%程度に達しています。犬を飼っている方と飼っていない方ではひろば内の毛や路上のフンに対する意見に大きな差が出ています。それぞれの立場で気になることが違うということでしょうか。

ひろばを散歩で使うことについては、犬を飼っている方と飼っていない方ではそれほど大きな差が出ませんでした。グラフは両者の合計です。ルールを作り守れる人だけが使うというのが39%になっています。今もルールはあるので、どう守っていただくかが問題となります。飼い主が自主的にルールをつくる、飼い主に任せるといった飼い主の自覚を促す意見が、それぞれ15、16%に及んでいることも特筆されます。犬は入れないようにするという強硬な意見も16%もあります。

このアンケートの答えを見ると、強硬に犬を排除しようという意見は少数で、うまく共存できるようにしたいという意見が多く、皆さん冷静にご覧になっているという印象を受けました。そのような地域の暖かい目を意識しながら、飼い主の自覚を促したいという意見も多く、考えさせられるところです。

## ビオトープが完成 4000㎡ 田んぼでは稲刈り

4000㎡の防災ひろばに、池二小が作っていたビオトープが完成しました。ビオトープとは、小動物、昆虫などが共生できる生息空間のこと。ひろばのビオトープにはメダカやヤゴが泳ぎ、いろいろな植物が芽を出し始めました。



ビオトープづくりが評価されて、春には自動車会社よりキンモクセイの苗木が60本送られました。ミスインターナショナルも参加して植樹式が行われました。

池二小の田んぼでは、ことしも稲がたわわに実りました。今年の夏は暑かったせいもあり、例年の倍近い収穫がありました。途中、稲に混じってヒエの繁殖が目立ちましたがみ付きで35kgものお米がとれました。

5年生全員が鎌を手に田んぼに立ち、稲刈りを行いました。収穫したお米は、11月11日にごはんパーティを開いて、みんなで食べる予定です。山形県の遊佐町のお米づくりの指導員の方からは「遊佐米と遜色がない」と誉められました。今年のごはんはどんな味でしょうか。



周囲の草も伸び、池にはメダカが泳いで、ビオトープの雰囲気が出てきました。



## 防災生活圏促進事業 あと5ヶ月 残されたまちづくりの課題

池袋本町地区で防災生活圏促進事業が始まって、7年半が過ぎました。事業期間終了まで残すところ5ヶ月です。31号の防災まちづくりニュースでお知らせしたように、この事業で池袋本町にはたくさんの成果が生まれ、まちは少しずつ安全になってきました。

一方で、課題もたくさん残されています。防災まちづくりの会では事業に先立ち、防災まちづくりに関する提言書を区に提出していますが、そこにあげられた多くの課題のうち、この8年で実現又は解決に着手したのは半分程度です。

豊島区では、防災生活圏促進事業が終了しても、地区のまちづくりは続ける必要があるとの判断から、今、新しいまちづくり事業の導入を検討しています。

新しいまちづくりでは何を目標にするか、何を行うかについては、防災まちづくりの会と防災ひろばの会が合同で検討を行っています。この8年間でまちはどのくらい変わったか、変わらなかったものは何かを確認し、新しいまちづくりに引き継ぐ課題を整理しています。その結果は、今年末を目標に取りまとめ、区に提言する予定です。

### ●防災生活圏促進事業で残された課題

- 安全な住まいと街並みづくりを進める
  - 耐震補強の強化・共同化の推進・建物のルールづくり・ブロック塀の改善、禁止
- 道路を改善する
  - 狭い道路の整備・通りやすい道路の整備
  - 地区道路の整備・防災モデル道路の整備
- 公園ひろばと水と緑を増やす
  - 公園の整備・ひろばの整備・緑化の推進
- まちの防災の拠点をつくる
- 防災活動がしやすいまちをつくる
- 重点施設を防災まちづくりに役立てる
  - 区営住宅の移設・ひろばの本格整備
- 連続的に防災まちづくり活動を進める
  - まちづくり協議会の継続・ニュースの発行
  - まちづくりイベントの継続

3